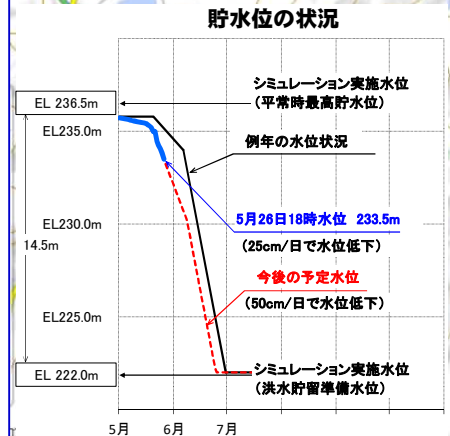
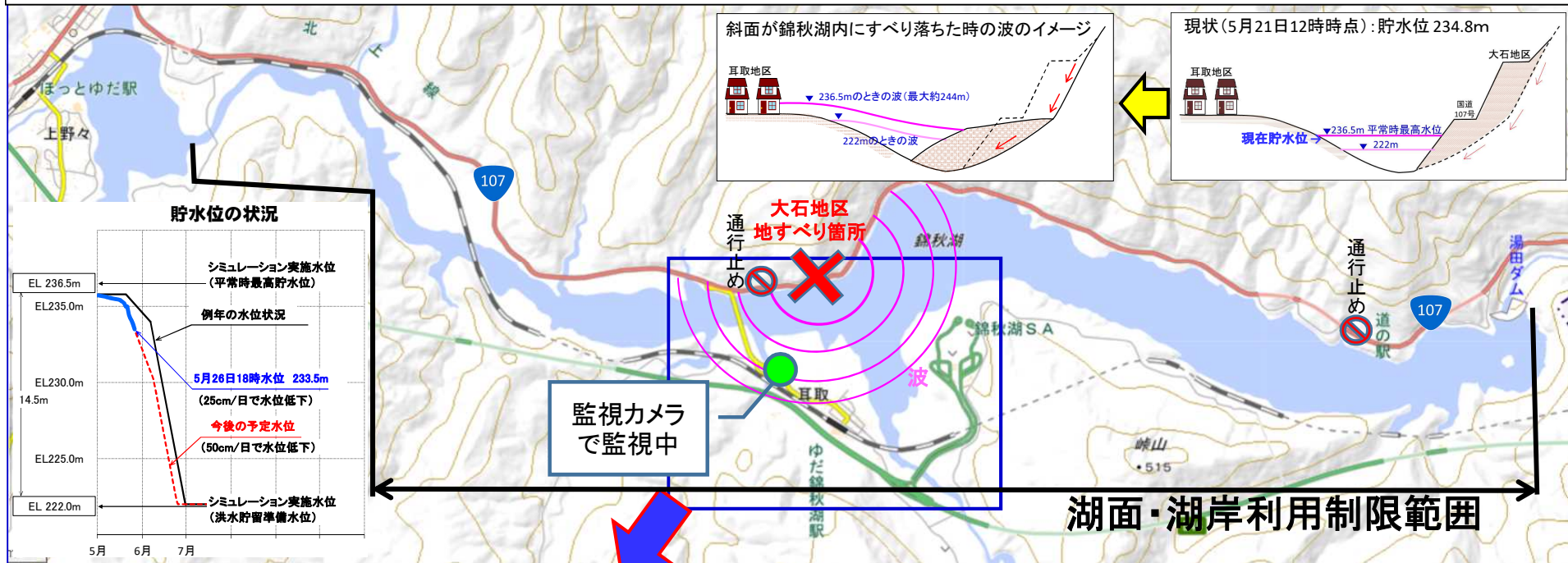


国道107号地すべりが湯田ダム貯水池に崩落した場合の波の想定について

東北地方整備局北上川ダム統管理事務所



国道107号の法面変状の影響について

- 1 現在、地すべりの動きを常時監視しながら、地すべりの詳細調査を実施しています。
- 2 国道107号の法面変状(地すべり)が、今後地震や大雨等により錦秋湖に落ちると想定したシミュレーションを実施しました。
- 3 シミュレーションによると、落ちた場合には波が発生し、ダムの最高水位236.5mの時に、対岸の耳取地区にも影響が懸念される結果となりました。
- 4 ダムでは、地すべりの動きを誘発しないように、例年より早いペースで、慎重に水位を低下させています。(5/26 18時 約233.5m 最高-3m)
- 5 地すべりが落ちないように、県、国で連携して調査等を進めています。
- 6 地すべりの動きに変化があれば情報を発信しますので、それら情報に注意して下さい。

※正確な地すべり量は詳細調査中のため、推定で設定しシミュレーションした結果です。

監視カメラを設置し監視中



監視カメラ映像